

対馬暖流の流量は例年の半分程度 対馬暖流の流路は積丹半島以南では沖より、以北では岸より 今後沿岸水温は平年よりも高めで推移する模様

2020年4月に実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は松前沖西方の東経139度の海域を北上し、その後暖流の大部分は奥尻島の南の海域で反転南下に転じ津軽海峡へ流入しています(図1c)。このため、北海道西岸を北上する対馬暖流の流量は約0.6Sv(1Sv=10⁶m³/s)と例年の半分程度になっています(4月流量の平年値は1.2Sv)。この暖流流量の低下は令和元年12月から継続している模様です。

対馬暖流の流路は、岩内湾沖に暖水渦が形成されているため、積丹半島以南までは沖よりになっています。積丹半島以北では暖流の流路は沿岸よりです(図1c)。

表面水温は日本海北部と奥尻島周辺で平年よりも約1~2℃高い海域がみられますが、その他の海域ではほぼ平年並みです。(図1a,b)

余市前浜水温は4月下旬では「平年並み」でしたが(※1)、今後の気温が平年よりも高めに推移する予報となっています(※2)、今後沿岸水温は平年よりも高めで推移することが予想されます。

※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyau/suion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>



余市前浜水温



気象庁1ヶ月予報

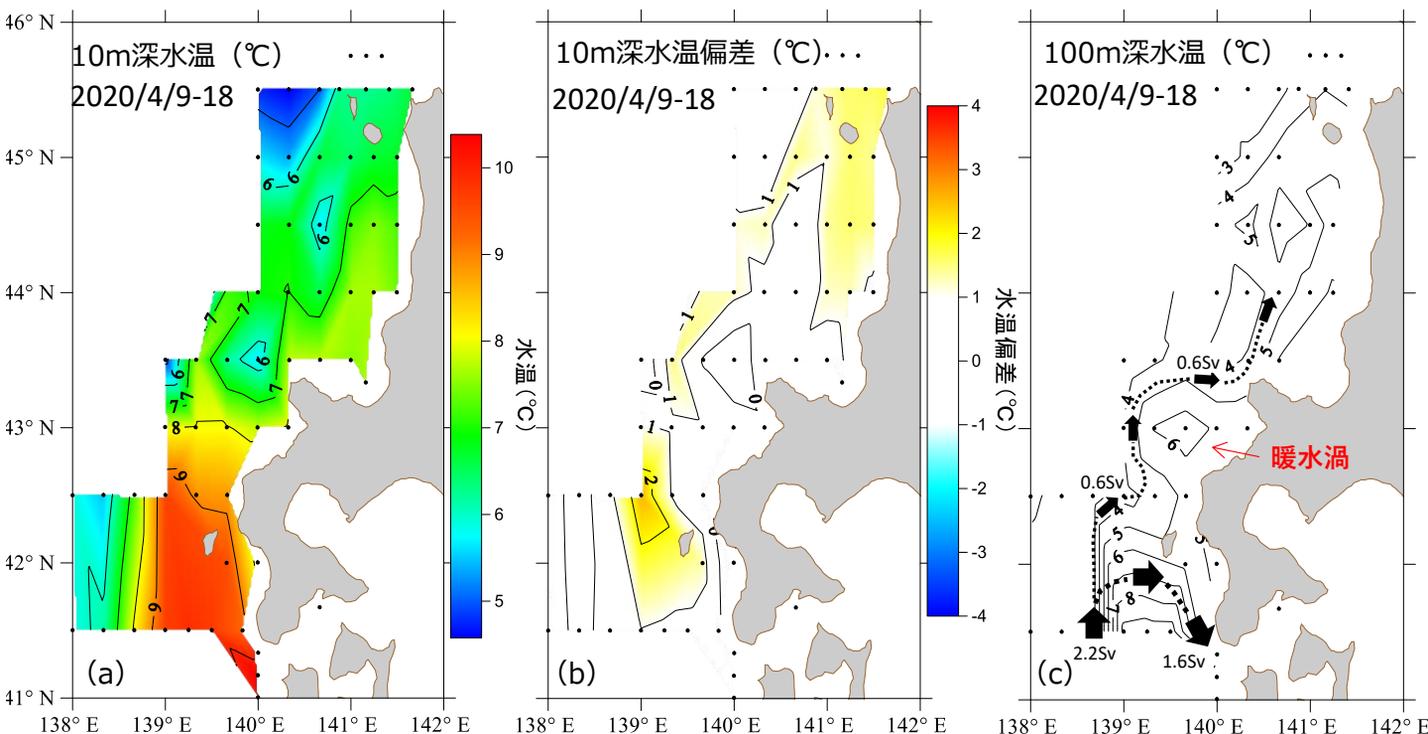


図1 2020年4月における (a) 10m深水温 (b) 10m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流量と流路。水温偏差は過去30年(1989年~2018年)の平均値から算出。流量の単位はSv(=1×10⁶m³/s)。